

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：特定非営利法人 環境・福祉事業評価センター	所在地： 長野県長野市南高田2丁目5番地16
評価実施期間： 平成30年6月11日から平成31年3月4日	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050301 B15020 B18055	

2 福祉サービス事業者情報（平成30年11月現在）

事業所名： （施設名） 沢保育園	種別： 保育所	
代表者氏名： 町長 白鳥 政徳 （管理者氏名）町長 白鳥 政徳	定員（利用人数）：170 名（150名）	
設置主体： 箕輪町 経営主体： 箕輪町	開設（指定）年月日： 昭和50年12月15日	
所在地：〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪 1890 番地 1		
電話番号： 0265-79-2612	FAX 番号： 0265-79-2612	
ホームページアドレス： http://www.town.minowa.lg.jp/		
職員数	常勤職員： 8名 非常勤職員 23名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	・園長 1名	
	・主任保育士 1名	
	・保育士 5名	・保育士 18名
	・調理員 1名	・調理員 3名
		・保育補助 2名
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	・多目的室長時間保育室 1室	・全保育室、遊戯室、職員室に冷暖房設備
	・未満児遊戯室 1室	床暖房設備
	・0歳児保育室 1室	・全室シーリングファン
	・1歳児保育室未満児長時間 保育室 1室	・太陽光発電設備（20kw）
	・2歳児保育室 2室	・プール
	・3歳児保育室 3室	・雲梯
	・4歳児保育室 2室	・三連鉄棒
	・5歳児保育室 2室	・ブランコ
	・職員室 1室	・2連シーソー
	・給食室 1室	・太鼓橋
	・トイレ 3室	・プレイポートワンダー
	・絵本コーナー	・ジャングルジム
		・可動式日よけ付砂場

3 理念・基本方針

箕輪町の保育理念

子ども一人一人を大切にし、保護者や地域に愛される保育園を目指します。

箕輪町の保育方針

養護と保育を一体的に行い、子どもの発達を援助します。

保護者の気持ちを受け止め、共に子育てをします。

沢保育園保育方針

一人一人の子どもが自信をもって輝ける場を作ります。

運動遊び、独育、英語あそび、食育を活動の柱に、思いきり遊びます。

沢保育園保育目標

思いっきりあそぶ子ども

- ・身体を使って夢中であそぶ
- ・考えたり工夫したりして楽しくあそぶ
- ・友だちと仲良く遊ぶ

自分の力で生活できる子ども

- ・あいさつをする
- ・人の話を聞き、自分の思いを言葉で伝える
- ・思いやりの気持ちをもつ

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

沢保育園は箕輪町の北部の北小学校区に位置し、平成29年12月に新たな園舎へと生まれ変わった。リトミック、運動あそび、わらべうた、クッキング活動などで、五感を豊かに育むと共に地域のみなさんとの交流を大切にしている。

建物は長野県産に材木一部活用した木造平屋建で内装は木材をふんだんに使用し、各所に羽目板を張り、温かみのある空間を作り出している。また絵本コーナーの屋根は旧保育園のシンボル赤いとんがり帽子のイメージを残している。「いえ」である保育室と「ひろば」である遊戯室を中廊下で有機的につなぎ、自由に行き来できるようになっている。更に中廊下の各所には絵本コーナー、ベンチ、中庭等の子どもたちの居場所がもうけられている。

最新の設備が備えられ、全保育室、遊戯室、事務室に冷暖房空調設備、床暖房設備を完備し、全室にシーリングファンが設置されている。自然エネルギーを活用した太陽光発電設備やLED照明、人感センサーを採用し省エネ化されている。また遊戯室には電動式大型スクリーンやクライミングロープが設置されている。園庭の中央部には裸足で走り回れる芝生(わい性小穂型)が整備され、中庭は未満児が利用するためゴムチップ舗装されている。園庭には組み立て型のプールが整備され「複合遊具」「芝生の築山(トンネル)」「二連シーソー」「2連ブランコ2基」「3連低鉄棒」「タイヤ跳台」「どろんこ遊び場」等充実している。また駐車場は102台分が整備され、タイヤ止、歩行通路を明確にするカラー舗装が整備されている。

定員は170名と箕輪町8園の中では大規模な保育園であり、長時間保育、乳児保育、未満児保育、障がい児保育、子育て相談、一時預かりを行っており、土曜保育を除くサービスを実施している。また園庭は地域に開放されている。

箕輪町では「箕輪町第5次振興計画(平成29年度～平成31年度)及び「箕輪町子ども・子育て支援計画(平成27年度～31年度)」が策定されている。沢保育園ではこの計画に基づきランドデザインを作成し沢保育園保育方針や保育目標を実現するための「運動あそび」、「エコ活動」、「英語あそび」、「食育活動」、「読育」を重点活動

として実践している。特に月一度のプレミアムフライデー（遊びの日の実施）、ALT（外国人英語指導助手）による英語活動、絵本、音楽、身体を通した表現活動に積極的に取り組んでいる。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	今回が初めての受審
---------------	-----------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

特に良いと思う点

生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。

建物は長野県産に材木一部活用した木造平屋建で内装は木材をふんだんに使用し、各所に羽目板を張り、温かみのある空間を作り出している。「いえ」である保育室と「ひろば」である遊戯室を中廊下で有機的につなぎ、自由に行き来できるようになっている。中廊下の各所には絵本コーナー、ベンチ、中庭等の子どもたちの居場所がもうけられている。

最新の設備が備えられ、全保育室、遊戯室、事務室に冷暖房空調設備、床暖房設備を完備し、全室にシーリングファンが設置されている。また遊戯室には電動式大型スクリーンやクライミングロープが設置されている。園庭の中央部には裸足で走り回れる芝生（わい性小穂型）が整備され、中庭は未満児が利用するためゴムチップ舗装されている。園庭には組み立て型のプールが整備され「複合遊具」「芝生の築山（トンネル）」「二連シーソー」「2連ブランコ2基」「3連低鉄棒」「タイヤ跳台」「どろんこ遊び場」等充実している。

子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。

沢保育園保育方針や沢保育園保育目標に沿って思いっきり遊ぶことを重点活動としている。運動遊びでは、プレミアムフライデー（遊びの日）を設定し、散歩や運動保育士による運動遊びを行っている。英語あそびでは、年長、年中を中心に英語を耳に入れることで、異文化交流による英語に親しんでいる。利用者調査結果からも保護者は保育方針・保育目標への納得や子どもの発育や意欲を促すような遊具・玩具を用意していることへの理解が高い。

保育所が有する機能を地域に還元している。

箕輪町の環境方針に沿って、エコ活動として地域の環境への気づきや関心をもつため再生紙の分別やエコカップの回収を行っている。また園庭は地域に開放され住民が利用できるようになっている。園庭中央部は芝生があり、裸足で走り回ることができる。「複合遊具」「芝生の築山（トンネル）」「二連シーソー」「二連ブランコ」「三連低鉄棒」「タイヤ跳台」「どろんこ遊び場」等が利用できる。

特に改善する必要があると思う点

保護者等への積極的な情報の発信やコミュニケーションの充実

利用者調査の結果からは「保育園の基本的な考え方（保育目標・保育方針）を知っていますか」の質問に対し「はい」が40%、「どちらともいえない」が26%、「いいえ」が35%となっている。また「お子さんや保護者の要望・意見をもとに、改善

が行われていますか」の質問では「はい」が36%、「どちらともいえない」が22%、「いいえ」が5%、「わからない」が32%となっている。保育園の基本的考え方はホームページ、「入園のしおり」、「沢保育園のグランドデザイン」に十分明示されている。保護者等へは様々な方法で周知されているがホームページ、ブログへの発信や保育活動の様子の写真の掲示等、引き続き丁寧な情報発信を期待する。また利用者アンケートでは様々な意見が寄せられており保護者の保育サービスに対する関心は高い。匿名での定期的アンケートの実施と保護者の要望・意見に対する改善情報の発信等により改善が行われていることを積極的に発信しコミュニケーションの充実を図ることを期待する。

安心・安全な福祉サービスの提供のための取り組みの更なる充実

沢保育園で考えるリスクには、登校時の事故、アレルギー事故、誤飲、午睡時の突然死症候群（SIDS）、保育中の事故や不審者の侵入が想定され、登校時の事故では保護者会と共有しながらの親子交通安全教室の実施、アレルギー事故では、トレイ、や機の区分、除去食確認票の確認を実施している。誤飲では床などにある口に入れるものを注意、SIDSでは午睡チェック表やうつ伏せ寝にならないよう注意し保育中の事故では危険なものを置かないようにしKYT（危険予知トレーニング）を活用し更に不審者の侵入では門扉の閉鎖や玄関の施錠管理を実施している。また、非常時の対応マニュアルが作成され定期的な避難訓練（火災、地震、不審者対応）や非常食の備蓄が行われている。

一方利用者アンケートでは「外部からの侵入に対する安全な対策がとられていますか」の質問では「はい」が43%、「どちらともいえない」が35%、「いいえ」が6%、「わからない」が15%となっており、実施している訓練の様子や安全対策について保護者や地域とのコミュニケーションを更に密にして取り組むことを期待する。

また箕輪町では「箕輪町地域防災計画（平成27年度修正）震災対策編を作成しており箕輪町の地震想定として伊那谷断層、糸魚川静岡構造線南線では震度7を想定している。地震等の災害について具体的な震度想定による被害を予想し事業継続を確実にするため保育施設を運営再開するための事業継続計画（BCP）の策定（トイレの使用ができない場合や職員の出勤が困難な場合等）が望まれる。

- 7 事業評価の結果（詳細）と講評
共通項目（別添1）
内容評価項目（別添2）
- 8 利用者調査の結果
アンケート方式の場合（別添3 - 1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）

（平成31年3月4日記載）

いろいろな専門用語も多く自身が勉強不足であると感じました。

しかし、第三者評価を受けたことで、福祉サービスの提供とはどうあるべきなのか、多方面から検証し、評価をしていただいたことは、これからの保育にどう生かしていけばよいのかという部分が明確になりました。また、保育ニーズに答えていくために、園の置かれている立場をみんなで考え共有していくにはよい機会となりました。

アンケート結果から自分ではやっているつもりだが伝わっていなかったり、職員や保護者に伝えたはずが分かりにくいなどという評価結果で、今後の課題として真摯に受け止めていきたいと思います。

町内の保育園では今年度、3か所で実施だったが自園が最後だったためか、質問などは的確で受けやすかったです。評価を受けたことで、これからどう改善していくかという部分をプラスにとらえていきたいと思います。